



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 中越パルプ工業株式会社

コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 明美

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 荒屋 英治

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	23,507	△5.1	△530	—	△479	—	△352	—
27年3月期第1四半期	24,777	5.0	327	46.2	324	8.8	149	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △150百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 169百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△2.87	—
27年3月期第1四半期	1.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	131,581	53,903	41.0	403.64
27年3月期	130,345	51,115	39.2	438.60

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 53,903百万円 27年3月期 51,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	1.0	200	△85.8	200	△85.9	300	△76.8
通期	105,000	3.8	1,900	16.9	1,800	2.9	850	△47.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	133,546,883 株	27年3月期	116,654,883 株
28年3月期1Q	4,186 株	27年3月期	110,891 株
28年3月期1Q	122,722,984 株	27年3月期1Q	116,550,220 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業業績が改善傾向にあるなか、株高・原油安を背景に個人消費にも持ち直しの兆しがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

紙パルプ業界におきましては、電子化の影響による需要構造の変化や円安等による原料価格・資材価格の高騰など経営環境は依然不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは平成25年5月に策定した中長期成長戦略プラン「ネクストステージ50」に基づき、食品容器分野を中心とする高級白板紙・加工原紙の新規需要の開拓、グループ製袋事業の発展強化、木質バイオマス燃料発電設備の新設をはじめとするエネルギー事業への参入、生産体制の見直しを含めた抜本的なコスト削減対策の推進、新素材セルロースナノファイバーの研究開発の促進を柱とする新たな収益基盤を確立し、独自性の強化でより存在感のある企業を目指してまいりました。

当期の経営成績につきましては、販売価格の復元による効果はあったものの、販売数量減・原料価格の高騰による影響や、当社主力工場の長期点検停止を当第1四半期連結累計期間に行ったこともあり、前年同四半期と比べて損益は大幅に悪化しました。

なお、当社と王子ホールディングス株式会社は、両社の経営資源を相互に有効活用することにより、投資効率、資金効率のより一層の向上を図ることを目的に、業務・資本提携を実施いたしました。詳細は平成27年5月29日に公表しております「王子ホールディングス株式会社との業務提携及び子会社の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	23,507百万円	(前年同四半期比 5.1%減)
連結営業損失	530百万円	(前年同四半期は327百万円の連結営業利益)
連結経常損失	479百万円	(前年同四半期は324百万円の連結経常利益)
連結四半期純損失	352百万円	(前年同四半期は149百万円の連結四半期純利益)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売は、消費増税に伴う発行部数の減少により、数量・金額とも前年同四半期を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷情報用紙の販売につきましては、需要減の影響により、数量は前年同四半期を下回りました。

金額については価格修正が寄与しほぼ横ばいにて推移しました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、需要減の影響により、数量は前年同四半期を下回りました。

金額につきましては価格修正がありましたが、数量減の影響を補いきれず前年同四半期を下回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙の販売につきましては、封筒需要が低迷したことなどにより、数量・金額とも前年同四半期を下回りました。

板紙・加工品等につきましては、需要の低迷により、数量・金額ともに前年同四半期を下回りました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	20,442百万円	(前年同四半期比 4.8%減)
連結営業損失	724百万円	(前年同四半期は64百万円の連結営業利益)

(紙加工品製造事業)

紙加工品製造事業は、国内需要が低迷したことにより減収となりましたが、固定費の削減に取り組んだことにより増益となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	3,059百万円	(前年同四半期比	3.3%減)
連結営業利益	37百万円	(前年同四半期比	40.5%増)

(発電事業)

発電事業につきましては、天候不順による川内工場唐浜メガソーラー発電所の発電量減少もあり、前年同四半期と比較し減収減益となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	354百万円	(前年同四半期比	2.1%減)
連結営業利益	115百万円	(前年同四半期比	9.2%減)

(その他)

紙断裁選別包装・運送事業につきましては工場の停止による生産・出荷減の影響により減収減益となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	4,810百万円	(前年同四半期比	3.2%減)
連結営業利益	21百万円	(前年同四半期比	76.4%減)

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

現金及び預金は633百万円増加しましたが、売上の減少などにより受取手形及び売掛金が2,289百万円減少したことなどにより、流動資産は前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、47,479百万円となりました。また、有形固定資産が1,553百万円増加したことなどにより、固定資産は2.0%増加し、84,101百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、131,581百万円となりました。

(負債)

支払手形及び買掛金が1,428百万円減少したことなどにより流動負債は前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、55,462百万円となりました。また、固定資産撤去費用引当金が127百万円減少したことなどにより固定負債は1.3%減少し、22,215百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、77,677百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて5.5%増加し、53,903百万円となりました。これは王子ホールディングス株式会社を割当先とする第三者割当増資により、資本金が1,604百万円、資本剰余金が1,601百万円増加したことと、剰余金の配当291百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失352百万円などにより利益剰余金が643百万円減少したことなどによります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末とくらべて1.8ポイント増加し、41.0%となりました。

なお、第三者割当増資の詳細は平成27年5月29日に公表しております「第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分の払込手続完了並びにその他の関係会社の異動及び主要株主の異動に関するお知らせ」ご参照ください。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表しました「平成27年3月期 決算短信」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」と
いう。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動
による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方
法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会
計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に
反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分へ
の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年
度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首
時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,782	6,415
受取手形及び売掛金	25,258	22,969
商品及び製品	8,000	7,585
仕掛品	639	680
原材料及び貯蔵品	4,996	7,114
その他	3,272	2,729
貸倒引当金	△18	△15
流動資産合計	47,932	47,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,961	51,083
減価償却累計額	△30,873	△31,098
建物及び構築物 (純額)	20,087	19,985
機械装置及び運搬具	239,624	240,041
減価償却累計額	△202,655	△203,756
機械装置及び運搬具 (純額)	36,968	36,285
その他	19,886	22,265
減価償却累計額	△2,688	△2,727
その他 (純額)	17,197	19,537
有形固定資産合計	74,254	75,807
無形固定資産		
その他	324	294
無形固定資産合計	324	294
投資その他の資産		
投資有価証券	5,887	6,161
その他	2,094	1,986
貸倒引当金	△147	△148
投資その他の資産合計	7,834	7,998
固定資産合計	82,412	84,101
資産合計	130,345	131,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,200	12,772
短期借入金	32,273	32,057
1年内償還予定の社債	2,000	2,000
未払法人税等	207	50
賞与引当金	579	215
その他	7,456	8,366
流動負債合計	56,717	55,462
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	14,482	14,355
固定資産撤去費用引当金	658	530
退職給付に係る負債	5,059	5,034
その他	310	294
固定負債合計	22,511	22,215
負債合計	79,229	77,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,259	18,864
資本剰余金	14,651	16,253
利益剰余金	18,593	17,949
自己株式	△24	△0
株主資本合計	50,480	53,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,012	1,184
繰延ヘッジ損益	-	22
退職給付に係る調整累計額	△377	△370
その他の包括利益累計額合計	635	837
純資産合計	51,115	53,903
負債純資産合計	130,345	131,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	24,777	23,507
売上原価	20,238	19,923
売上総利益	4,539	3,583
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,664	1,609
運搬費	1,492	1,409
保管費	261	286
その他	794	809
販売費及び一般管理費合計	4,212	4,114
営業利益又は営業損失(△)	327	△530
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	77	83
為替差益	-	36
その他	38	52
営業外収益合計	117	174
営業外費用		
支払利息	90	75
その他	29	48
営業外費用合計	119	123
経常利益又は経常損失(△)	324	△479
特別利益		
投資有価証券売却益	-	50
固定資産売却益	-	50
特別利益合計	-	101
特別損失		
固定資産除却損	59	135
特別退職金	25	10
その他	1	1
特別損失合計	87	148
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	237	△527
法人税、住民税及び事業税	38	16
法人税等調整額	49	△190
法人税等合計	88	△174
四半期純利益又は四半期純損失(△)	149	△352
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	149	△352

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	149	△352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	171
繰延ヘッジ損益	△42	22
退職給付に係る調整額	4	7
その他の包括利益合計	20	201
四半期包括利益	169	△150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169	△150

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,356	3,052	361	23,771	1,006	24,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,119	112	—	1,231	3,961	5,193
計	21,476	3,164	361	25,003	4,967	29,971
セグメント利益	64	26	127	219	91	310

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	219
「その他」の区分の利益	91
セグメント間取引消去	26
棚卸資産の調整額	△14
その他の調整額	5
四半期連結損益計算書の営業利益	327

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,335	2,959	354	22,649	858	23,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,107	100	—	1,207	3,952	5,159
計	20,442	3,059	354	23,856	4,810	28,666
セグメント利益 又は損失(△)	△724	37	115	△571	21	△549

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△571
「その他」の区分の利益	21
セグメント間取引消去	24
固定資産の調整額	△11
その他の調整額	6
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△530

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成27年5月29日付で王子ホールディングス株式会社から第三者割当増資の払込を受け、合わせて自己株式の処分を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が1,604百万円、資本剰余金が1,601百万円増加し、自己株式が23百万円減少しており、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が18,864百万円、資本剰余金が16,253百万円、自己株式が0百万円となりました。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。